

地区住民の1年間の成果を発表するふれあい交流事業（文化祭）が昨年10月29・30の両日開催されました。今年は、ゆめづくり推進委員会提案のイベントなどで大いに盛り上がりました。弦打コミュニティセンター長の小柳智美さんから原稿が寄せられました。

弦打コミュニティセンター長 小柳智美

昨年10月29・30日、作品展示会場のコミュニティセンターと、歌やダンス等の発表会場の小学校体育館に、多数の方が地区内外から集い、楽しい時を過ごしました。

ボランテアも活躍しました。小・中学生がうんどのお接待やスタンプリーの係で貢献。また「ゆめづくり推進委員」、「キッズクラブ」は、『つるピーと大抽選会』を初めて実施し、会場を沸かせました。写真Ⅱ。

平成26年の文化祭開催前にキャラクター募集をして誕生した「つるピー」が、2次元から3次元（生身）になり、現れるつるピーに、子どもたちはもちろん大人も歓声をあげる文化祭となりました。

地域の文化祭は、身近な生活に根付いた学習発表の場であることはもちろん、人と人

弦打パワー随所に 進化、ふれあい交流文化祭



とのふれあいが精神的な充実感をもたらす効用のある「お祭り」として、今後進化しながら楽しいイベントであり続けるよう力を合わせていきましょう。

ゆめづくり推進委と「うちキッズクラブ」から活動をしている「つるピー連」など報告してもらいます。

つるうちキッズクラブ発足 地域とともに成長

今年度、弦打小学校全児童を対象とした「つるうちキッズクラブ」が新しく発足しました。近年、若い世帯の自治会離れが進むと同時に、各地域の子ども会加入率も低下し、昔のような子ども会活動を継続していくことが難しくなりました。そこで、弦打地区全体で一つの大きな子ども会を作り、子ども会活動を通して、子どもたちが地域と触れ合う場を提供したいと考えました。

今年度、キッズクラブは夏休みラジオ体操、映画会、夏まつり、高松まつり総おどりと、防災キャンプ等、様々な行事を行いました。初めての試みで至らない面も多々ありましたが、地域の皆様の



温かいご支援のお陰で、どの行事も大成功に終わりました。特に高松まつり総おどりで、

「ピー連」として、同じく今年度誕生した「つるピー」とたくさん仲間と共に、夏の暑い夜を踊り抜き、大いに楽しみました。写真Ⅱ。

ふれあいまつりでは、子どもたちがボランテアとしてお手伝いをさせていただきました。今後も、地域に根差した活動の中で、子どもたちに地域の良さを感じてもらい、すくすくと成長してもらいたいと考えています。

来年度以降もキッズクラブは、様々な活動をしていく予定です。地域の皆様、今後ともキッズクラブの活動にご協力をお願いいたします。（つるうちキッズクラブ会長 西村直樹）